



2020年9月30日

Webを活用した「危険予測トレーニング」の提供開始

SOMPOリスクマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桜井淳一、以下「SOMPOリスク」）は、10月1日からWebを活用した「危険予測トレーニング（Web版）」（以下「本トレーニング」）の提供を開始します。

1. 背景

自動車の運転行動は「認知・判断・操作」に分けて考えられますが、交通事故の約80%以上は「認知」と「判断」の段階に発生原因があるといわれています。したがって、交通事故を未然に防ぐためには、道路上の危険を早めに予測すること、つまり「危険予測」がきわめて大切です。

SOMPOリスクでは、危険予測の重要性を認識し、運転時に生じる現実の危険に適切に対応する力を身に付けることを主なねらいとして、参加型・ディスカッション形式の「危険予測トレーニング」を展開しております。

一方で昨今の働き方改革や感染症への配慮により、従業員を一か所に集めた集合型講習の開催が難しいとの相談が増えております。

このような場合でも交通安全教育を継続いただくため、受講者が「それぞれの場所」から、スマートフォンやコンピュータ端末を使って参加できる、本トレーニングの提供を開始することとしました。

2. 本トレーニングの概要

(1) 内容

【講習の主な流れ】

- ① 受講者はドライブレコーダーのヒヤリ・ハット等の危険シーンの動画を視聴し、その状況の中に潜む様々な危険を予測します。講師が無作為に指名する5名（基準）の方に発表していただきますので、緊張感をもって受講することが可能です。
- ② ①の発表内容は講師がWeb画面上に表記します。それにより、発表内容を他の受講者も容易に共有することができ、様々な危険が存在することに気づくことができます。
- ③ 次に、講師が無作為に指名する5名（基準）の方に、②の発表内容の中から最も自分が危険だと思う事象とその危険を回避するための具体的な運転方法について発表していただきます。
- ④ 最後に講師から③で発表された危険シーンに潜む危険予測のポイントや安全な運転方法について解説いたします。

【時間・人数】

- ・講習時間の目安は、危険シーン3事例で90分程度となります。
- ・受講者の人数は活発な議論を促すため、10名～15名程度を推奨します（応相談）。

(2) 特長

- ・Web会議システムにより、一か所に大勢の受講者が集まることなく、受講できます。
- ・株式会社JAFメディアワークスとタイアップし、臨場感がある実際のヒヤリ・ハット等のドライブレコーダー映像を利用するとともに、Web環境が低下した場合を考慮して、静止画、画面のテキスト表示等に配慮した構成としています。
- ・人によって「危険に対する感じ方」、「道路・交通状況に対する判断のしかた」、「運転行動」に違いがあることを認識し、気づかなかった危険を共有することにより、「より安全な運転行動の選択」ができるかを受講者に考えていただくことで、高いトレーニング効果が期待されます。
- ・講師から当該危険シーンに潜む危険を関係法令に関する解説をまじえて体系的に説明することにより、危険予測のポイントや安全な運転方法に関する知識を定着させ、危険感受性の向上を図ります。

(3) Web環境

- ・Zoomを推奨しております。
※お客さまがZoom以外のWeb会議システムを既に使用されている場合は、事前に確認させていただいた上で、お客さまが使用されているWeb会議システムでの講習も可能です。

(4) 費用

1回あたり10万円（税抜）

3. 今後の展開

SOMPOリスクは、安心・安全・健康に資するサービスプロバイダーとして、本トレーニングを通じて、交通事故防止活動の継続を支援してまいります。

SOMPOリスクマネジメントについて

SOMPOリスクマネジメント株式会社は、SOMPOホールディングスグループのグループ会社です。「安心・安全・健康のソリューション・サービスプロバイダー」を目指し、企業のリスクマネジメントに関するコンサルティング、調査研究、セミナーなどのサービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社 モビリティコンサルティング部
自動車グループ [担当：福田・小野・川淵・矢口]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5435（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社

経営企画部 [担当：野本]

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル

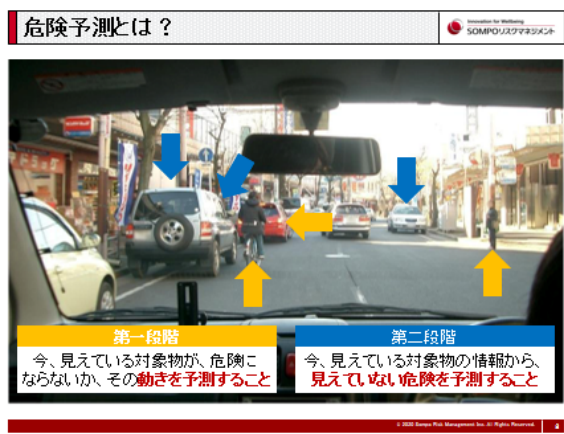
TEL：03-3349-3500（直通）

以上

<別紙>

WEBを活用した「危険予測トレーニング」のイメージ

1. ドライブレコーダーの映像を利用



2. WEB 会議システムを活用し、受講者の予測した危険を発表



3. 受講者の発言を講師が画面上に表記

